



本行寺のオハツキイチヨウ

指定 平成二十六年五月一日

所在地 いわき市平上片寄字寺下

所有者 本行寺

通常とは異なり、枝ではなく葉の先に実がつく特徴を備えた珍しいイチヨウである。

大枝や幹の損傷、梢や上枝・下枝の先端の枯損、樹皮の傷、腐朽・穿孔等、特に目につく箇所はなく、枝葉の密度もバランスがとれており、樹勢は良好である。

国内に「オハツキイチヨウ」と名がつく樹木は確認できただけでも四〇本以上存在し(平成二十二年調査時)、そのうち山梨県巨摩郡身延町には八本あり、身延町の日蓮宗・法喜山上沢寺には国の天然記念物に指定されているオハツキイチヨウが存在する。

オハツキイチヨウがある本行寺も日蓮宗の寺院であり、こちらのイチヨウも身延山から数代前の住職が修行の記念に持ち帰ったという伝承がある。

イチヨウは雌雄異株の樹木であり、このイチヨウは雌株である。現段階では市内で唯一のオハツキイチヨウと考えられている。

ただし、実がつくのはすべての葉ではなく全体の数%といわれている。このイチヨウでも落葉や剪定作業時などに葉についた実を確認することはできるが、ごくわずかである。



井戸沢断層(塩ノ平断層)

指定 平成二十八年五月二日

所在地 いわき市田人町黒田字塩ノ平

所有者 個人

平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震の
一か月後、四月十一日に福島県浜通りの深さ約6kmでマグニチ
ュード七・〇の地震が発生した。この地震により、井戸沢断層
(塩ノ平断層)に沿って地表地震断層が長さ一四kmにわたり連続
的に出現した。この断層は海溝型超巨大地震に誘発されて内陸
活断層が活動して出現した日本初の正断層型の地震断層であ
る。

地表に現れたのは、以前から知られていた「井戸沢断層」で
あると考えられたが、実際には「井戸沢断層」西側に沿って新
たに地表地震断層が現れたものである。この断層は、従来の井
戸沢断層とは異なるものとして「塩ノ平断層」とすべきとの考
えもあるが、現状においては「井戸沢断層(塩ノ平断層)」と表
記する。

本断層は、断層面の傾斜角は八〇度ほどで、西側が落ち込ん
だように見える「正断層」である。日本列島はプレートが沈み
込む圧縮場であることから「逆断層」や「横ずれ断層」が多い
が、その意味でも重要である。

田人地区内には断続的に複数の地表地震断層が出現したが、
生活道路、教育機関等に係る施設・構造物に影響を与えていた
ため、多くは修復され、今なお明瞭に断層崖が残る箇所は少な
い。
生きた地学教材として大変貴重なものである。